

ニカメイガ（第一世代）の多発生に注意!!

近年、坂井地区を中心にニカメイガの被害が発生しています。6月に発生する第一世代幼虫は、心枯れや変色茎の被害をもたらします（写真1）。現在、その前の世代である越冬世代成虫の発生がピークを迎えています。育苗箱施薬でニカメイガに効果の高いフェルテラまたはプリンスを処理していない場合は、適期に防除を徹底しましょう。



写真1 幼虫の食入による変色茎

1 発生状況

フェロモントラップにおける捕獲状況から、越冬世代成虫の発生量は平年並みで、5月6半旬が発生最盛期と考えられます。（写真2、図）。

第1世代幼虫による加害は、6月中旬頃から増加する見込みです。



写真2 フェロモントラップで捕獲した成虫

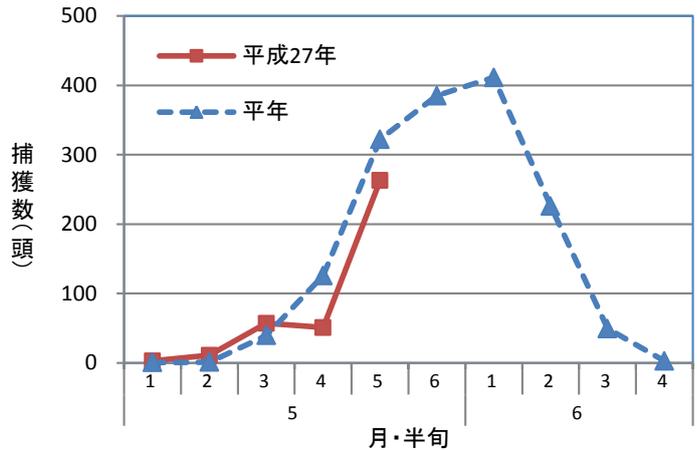


図 フェロモントラップにおける成虫捕獲数（三国町）
<http://www.pref.fukui.jp/doc/noushi/kankyo/nikameiga.html>

2 防除対策

(1) 防除適期

粉剤、液剤：6月10～15日頃

粒剤：6月5日頃

(2) 防除薬剤

病害虫名	薬剤名	使用濃度	10a当たり 使用量	注意事項
ニカメイガ 第1世代 (本田防除)	エルサン粉剤3DL		3kg	・粒剤使用の場合は、1週間程度灌水し、かけ流しはしない。また漏水の多いところでは使用しない。 ・パダン粉剤DL、パダン粒剤4、パダンSG水溶剤はナス科野菜、タバコにかからないように注意する。
	パダン粉剤DL		3~4kg	
	エルサン乳剤	1,000倍	100ℓ	
	パダンSG水溶剤	1,500倍	100ℓ	
	パダン粒剤4		3~4kg	

☆最新の農薬登録情報 (<http://www.acis.famic.go.jp/search/vtllg301.do>) を確認して下さい